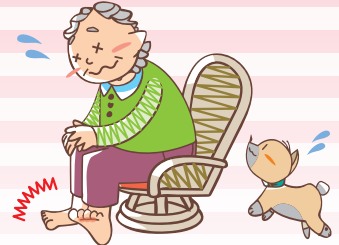


今月のテーマ 水虫



水虫は、「白癬菌」というカビが足の裏や足の指の間などに繁殖して起こる感染症です。正式には「足白癬」といいます。白癬菌は手やからだにも感染しますが、9割近くは足です。足に繁殖しやすいのは、靴を履くために足が蒸れ、菌にとって過ごしやすい高温多湿な環境を作るからです。最近では女性も仕事で一日中、靴を履いたまま過ごす人が増えたため、男性に限らず女性も水虫に悩む人が多いようです。

水虫の症状は、次の3種類があります

① 趾間型

水虫の中で最も多くみられるタイプ。足が蒸れると足の指の間(趾間)の皮膚がふやけて白くなり、ジュクジュクし、悪化するとただれたようになります。多くはかゆみを伴います。趾間が乾燥したように、カサカサひび割れすることもあります。

② 小水疱型

足の裏や足裏のふちに粟粒ほどの細かい水疱があらわれ、赤みや皮むけ、強いかゆみを伴います。小さい水疱が目立たず、赤みや皮むけ、水疱のフタがレース状に残った状態のみが目立つ場合もあります。

③ 角質増殖型

足の裏やかかとがカサカサと乾燥し、角質が厚く硬くなり、皮膚がむけ、ひび割れを伴うのが特徴です。

水虫が爪へ広がると、爪の白濁や肥厚、変形、爪がもろくなってボロボロ欠けるなどの症状があらわれます。これは爪の水虫(爪白癬)と呼ばれます。

[水虫の種類]



水虫の予防

白癬菌は生命力が強く、剥がれ落ちた皮膚の中でも生きています。ほとんどの場合、その剥がれ落ちた皮膚のかすが付着することで水虫になるといわれています。そのため同居家族に水虫患者がいる場合は特に注意が必要です。

① 毎日、足を洗いましょう。

白癬菌が角質層に侵入するのに1日くらいかかると言われています。仮に白癬菌が皮膚に付着しても、角質層の中に侵入する前に洗い流すことで感染予防ができます。

② 靴は何足かを交互に。

白癬菌は高温多湿な環境で繁殖します。蒸れにくく、爪に負担をかけない靴をはき、靴はときどき陰干しし、湿気を取り除きましょう。毎日同じ靴ではなく、何足かを交互に履きましょう。

③ バスマットやスリッパの共用に注意。

バスマットやスリッパは湿度も温度も白癬菌が増殖しやすい環境にありますので、共用することは感染する機会を増やします。特に家族の中に水虫患者がおられる場合は、個人個人のものを用意しましょう。

水虫薬の使い方

一度かかってしまうと、なかなか治りにくい水虫。治るまで数ヶ月から数年かかることもあります。治療には「根気」「清潔」「乾燥」が大切です。

- 薬剤は入浴後など角質がやわらかくなってから塗ると浸透しやすく効果的です。お風呂から上がった後、清潔になった足が乾燥してから使用してください。
- 白癬菌は根を張るように患部を中心に広く寄生していることが多いので、薬剤を広めに塗りましょう。
- 白癬菌の増殖を抑え二次感染を防ぐため、患部はいつも清潔に保っておきましょう。また、薬剤を塗った後は患部にふれた手や指もしっかり洗いましょう。
- 角質層は厚く、奥に菌が潜伏している場合もあります。かゆみや水疱などの症状がなくなった後も、決められた用法・用量で、主治医の先生の許可が出るまでは勝手に中止せず、根気よく治療を続けましょう。

お薬や介護についてわからないことや、気がかりなことがありましたら、
お気軽にお尋ねください。

担当 みやこ薬局 薬大前店

みやこ薬局

本店・山科店・薬大前店・マツヤスーパー店・北山店・紫竹店
大宮店・みやこケアプランセンター（北山店横）

<http://www.miyako-ph.co.jp>